暮らし応援ギフトカード

市民からの声を受け 分かりやすく情報発信

問　あかし暮らし応援ギフトカードの利用状況、市民からの意見への対応について聞く。

答　同ギフトカードは８月１日から配送を開始し、８月末時点の到達率は約95％、利用率は約25％である。食料品など生活必需品全般に使用できるが追加のチャージはできず、残高を超えて使用する際は現金等と組み合わせる必要がある。また、利用残高はレシートに表示されず本人が確認しなければならない。そのため市民からは、使用方法が難しい、現金と併用できる店舗を教えてほしいなどの意見があり市ホームページに追加情報を掲載するなど迅速に対応している。さらに、問い合わせ対応の電話回線の増設等、相談受け付け体制の充実も図っている。

交通ルール変更に伴う市民への周知は

問　道路交通法改正に伴い４月から16歳以上の自転車運転者を対象とした青切符制度が導入され、９月から生活道路における自動車の法定速度が時速30キロに引き下げられるなど交通ルールが大きく変更されている。市民への周知方法について聞く。

答　本市としては、自転車の通行ルールを視覚的に表現したリーフレットや交通安全教室などで交通ルールの周知・啓発に取り組んでいく。法定速度の引き下げについては啓発ポスターの掲示や広報あかしへの掲載等で周知に努めている。また、通学路の路側帯の拡幅やグリーン塗装などの歩行者安全対策を進めるとともに、車両の速度抑制対策が必要な道路の中央線の消去等の道路改良にも取り組んでいる。

経営状況厳しい水道事業

料金改定へ市民理解求め 健全経営を図っていく

問　令和７年度決算を踏まえ、今後の水道事業経営の見通しを問う。

答　本市水道事業は市民の生活様式や社会経済情勢の変化の影響で営業収益が減少し営業費用が増加しており、７年度決算は21年ぶりに単年度赤字となる当年度純損失に陥った。厳しい経営状況から上下水道事業経営審議会の答申を踏まえ９月議会に水道料金増額の条例改正議案を提出した。料金改定すると来年度には当年度純利益を確保でき12年度まで毎年純利益を確保できると予測するが、改定しないと12年度中に運転資金が枯渇し企業倒産状態に陥る見込みだ。事業の重要性と経営の厳しさを市民に説明し、健全経営を図っていく。

持続可能な水道事業に向けDX化の取り組みは

問　持続可能な水道事業に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）による経営改革について聞く。

答　本市水道事業は現在、経営戦略と中期経営計画を策定しており、施策目標にDXによる効率化・省エネ化を掲げている。DX関連の取り組みとしてスマートメーターの導入、AIや人工衛星データを活用した漏水調査等があるが、進歩する技術開発の動向を注視しながら調査研究していきたい。また、水道事業の経営改革は、経営戦略と中期経営計画に基づくDXを核とした業務の効率化を図ることで、継続的に経営改善を進め、持続可能な事業運営を目指していく。

山手環状線大窪工区安全を最優先に道路整備を

問　都市計画道路山手環状線（大窪工区）に信号機や横断歩道を設置することになった経緯を聞く。

答　本市は当初、山手環状線から大窪八幡宮の北東にある三差路交差点への双方向通行を確保し右左折が可能な計画としていたが、車両の通行路が歩道と交差し、事故の危険性があるため山手環状線に直接接続しない計画に変更した。しかし、山手環状線に接続しないことにより大久保病院南側交差点に車両が集中すると見込まれるため、県公安委員会と協議し、信号機と横断歩道の設置が承認されることとなった。今後も関係機関と連携し安全確保に努めていく。



信号機と横断歩道を設置

ごみの減量・再資源化の推進へ

官民連携のリユース拠点を設置

問　ごみの減量・再資源化推進の取り組みとして株式会社ジモティーと連携協定を締結し設置したジモティースポットについて聞く。

答　８月21日に不要品のリユース（再使用）促進の拠点となるジモティースポット明石魚住店がオープンした。まだ使用できるが不要になった家具や生活家電等を予約や手数料なしで持ち込め、８月の11日間で約５００点、１７００キログラムの物品がリユースされた。今後、ごみ減量・再資源化の大きな流れにつながると考える。この官民連携のリユース拠点が市民に根付き活用の輪が広がるよう広報紙やホームページ等でPRし、さらなるごみ減量と持続可能な循環型社会の実現に向け、取り組んでいきたい。



8月にオープン(ジモティースポット明石魚住店)

副市長選任に同意

令和８年９月27日で任期満了となる副市長に佐野洋子氏を引き続き選任することに同意しました。同氏は、昭和63年から明石市に奉職され、こども局長、統括理事などを歴任し、令和４年から副市長を務められています。

本市の副市長は２人制で佐野氏の任期は８年９月28日から４年間です。

教育委員会委員任命に同意

令和８年10月16日で任期満了となる教育委員会委員の後任として、森一美氏を任命することに同意しました。同氏は、市内の保育所所長、社会福祉法人監事などを務められており、今回初めての就任となります。

本市の教育委員会委員は４人で任期は４年です。

固定資産評価審査委員会委員選任に同意

令和８年10月４日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員の後任として、澤田良一氏を選任することに同意しました。同氏は、兵庫県地価調査鑑定評価員や神戸地方裁判所司法委員などを務められており、今回初めての就任となります。

本市の固定資産評価審査委員会委員は３人で任期は３年です。

人権擁護委員推薦に同意

令和８年12月31日で任期満了となる人権擁護委員のうち、水澤仁代氏を引き続き法務大臣に推薦することに同意しました。同氏は、令和６年から同委員に就任し、今回で２期目となります。

本市の人権擁護委員は13人で任期は３年です。

公正かつ円滑な議会運営を目指す

議会運営委員長に聞く

【担当分野】
議会の円滑な運営に必要な協議や意見の調整、法定の事項に関することなどを審査します。



宮坂　祐太

【議員歴】
在職４期。副議長、監査委員、文教厚生常任委員長などを歴任。43歳。

――重点的に取り組む事項

市民の皆さまからお預かりした大切な税金の活用方策等を決める市の予算、より良いまちづくりのため市が独自で定めるルールである条例、その他、市の主要な人事や契約等については、議会が慎重審議の上、最終的な意思決定を担っています。議会運営委員会は、議会の日程や本会議の次第など、議会を公正かつ円滑に運営するために必要な事項について協議を行います。今年度は特に議会内のルールについて必要に応じ、より良い形に改めるべきものについては改めていく、そのための議論を行っていきたいと思っています。

――委員長として一言

９月議会では正副議長を除く全議員が本会議質問をするなど、活発な議論が行われました。ぜひとも市議会の審議にご注目ください。